

令和5年度

# 東明小だより

令和5年11月24日  
第9号



## 「3回楽しむ」



校長 吉田 尚子

先日、5年生が宿泊研修を行いました。私も夕食の頃、応援に行きましたが、みんなとっても充実した表情で活動を行っていました。また、いつもとは違う環境の中でも、素晴らしい姿をたくさん見ることができ、その姿に驚きました。

先生から指示があると、まず、自分たちで何をすればよいのかを考えます。そして、お互いに声を掛け合い行動。素早く行動するので、スムーズに活動が進み、時間の余裕が生まれます。余裕をもって行動することができるので、活動がさらに充実したものとなったり、自由時間が生まれたり、子どもたちの活動への満足度も高まります。所員の方々からも、「素敵な学年ですね。」と褒めていただき、私もとてもうれしかったです。

そんな、子どもたちの様子を見ているうちに、15年近く前に行われた我が子の宿泊研修を思い出しました。行く前には、娘としおりを見て、どんな活動をするのかを一緒に話したり、準備の様子を家族で食事時に聞いたりすることもありました。また、教師として何度も経験したはずなのに、「寒いといけないから。」「暑いといけないから。」と心配になって、あれもこれも服を準備して、ついに持っていくカバンに入らなくなり、娘と言い合いになったこともありました。野外炊事で作るカレーは、休日を利用して一緒に作って練習するなど、とても楽しみに研修当日を迎えたことを思い出します。

研修後は、キャンプファイヤーで盛り上がったこと、火の神の教頭先生がとってもかっこよかったこと、野外炊事の時、友達の軍手が行方不明となりみんなで一緒に探したこと…うれしそうに話す子どもたちの顔を見て、聞いている私もうれしくなったものです。

こうして振り返ってみると、どんな行事でも3回楽しむことができます。1回目は、当日を迎えるまでの楽しみ。そして2回目は、当日の楽しみ。最後3回目は、帰ってきてからの楽しみ。この3回の楽しみを、ぜひお子さんと一緒に体験してみてください。1つ1つの活動がより思い出深いものとなり、子どもの心いつまでも残る出来事となるはずですよ。来月は、いよいよ6年生の修学旅行が予定されています。思い出いっぱいの研修となるよう応援しています。



( 関市立中池自然の家にて )